

全リ演（東会議）総会・ゼミのご案内

2018年8月18日・19日

会場 京浜協同劇団（神奈川県川崎市）



この夏は川崎で！

全リ演東会議総会およびゼミナールを2018年8月18・19日の2日間にわたり開催します。

18日の総会には各劇団からできれば複数人でご出席ください。

ゼミは、18日夜は全体で聞く講演。19日は3つの分科会のいずれかを選んでご参加ください。一日だけの参加も可。全リ演外の方の参加も歓迎します。ゼミの内容をご紹介します。

対談「被災地で演劇に何ができるか」

東日本大震災後、中部ブロックでは毎年東北ボランティアツアーを続けています。企画の中心となっている劇団名古屋の谷川さん、仙台小劇場の石垣さんに、演劇人の被災地支援と被災地での演劇活動について語っていただきます。

石垣政裕（いしがき まさひろ）氏
劇作家、演出家。劇団仙台小劇場代表。

全リ演東会議事務局長。被災地宮城で粘り強い活動を続けている。

谷川伸彦（たにかわ のぶひこ）氏
劇団名古屋で、主に俳優として活躍中。

全リ演東会議副議長。被災地宮城にもう7年間、劇団や周りの人たちを誘ってボランティア活動を続けている。

講演『空の村号』が持つ今日的意義

文芸評論家の棚沢健氏に、震災後の福島を略農一家を描いた戯曲『空の村号』（篠原久美子／作）の分析をしていただき、作品の今日的な意義を探ります。私たちに、これからの演劇づくりのヒントを与えてくれるでしょう。

棚沢 健（くるみさわ けん）氏
文芸評論家。1966年生まれ。早稲田

大学第一文学部卒。プロレタリア文学を研究。早稲田大学非常勤講師。著書に『だから、プロレタリア文学 名文・名場面』『いま』を照らします17の傑作』、『だから、鶴彬 抵抗する17文字』ほか多数。

演技分科会

「『空の村号』をテキストに」

講師に関根信一氏を招き『空の村号』をテキストに、演技のスキルアップに挑みます。

関根信一（せきね しんいち）氏
劇作家・演出家。劇団フライングスター

ジ主宰。1965年生まれ。演劇集団「円」研究所卒。40本以上の作品を書き、演出。『空の村号』の演出も。最近では青年劇場の『きみはいくさに征ったけれど』を演出。

腹話術分科会

「腹話術で劇団の宣伝をしよう！」

腹話術の基礎を学び、それぞれの劇団の

タイムスケジュール



8/18(土)

10:30~12:00 運営委員会

13:00~17:00 総会

18:30~20:30ゼミ(講演)

対談 ●「被災地で演劇に何ができるか」

講演 ●「『空の村号』が持つ今日的意義」

20:30~22:00 交流会

8/19(日)

9:00~15:30 ゼミ(分科会)

●演技分科会 ●腹話術分科会 ●創作分科会

15:30~16:30 ゼミのまとめ

各分科会の成果発表・報告など

参加費

【総会】 無料

【ゼミ】 全リ演加盟劇団の団員・個人会員/3000円
(18日のみ/1000円・19日のみ/2000円)
全リ演外の方/4000円
(18日のみ/1500円・19日のみ/2500円)

【交流会】 500円(加盟・非加盟共通)

会場

京浜協同劇団(スペース京浜)

神奈川県川崎市幸区古市場2-109

電話044-511-4951

参加申し込み・問い合わせ

石垣政裕 Eメール bzt04200@nifty.ne.jp

城谷護 電話・ファックス 044-544-3737

Eメール shirotanim@22.netyou.jp

★宿泊は各自で手配してください(必要あれば紹介します)。

★19日の昼食は各自で用意願います(近くにスーパー、コンビニあり)。

★分科会参加者は上履き(演技分科会参加者は動きやすい服装、スリッパでない上履き)をご用意ください。

★腹話術分科会参加者は人形(パクパク人形で可)をご持参ください。ない方には貸します。

宣伝や、各種行事で上演できるところまでやります。講師は、しろたにまもる氏。

しろたにまもる(城谷護氏)。

日本では数少ないプロの腹話術師。京浜協同劇団で58年間活動中。日本腹話術普及協会理事長。全リ演事務局長、全リ演東会議長。



創作分科会

「プレヒトから学ぶものは」(仮題)

創作劇を生み出すために、現代をどう表現するか、プレヒトの作劇に学びます。プレヒトを研究されている秋葉裕一氏にお話を伺います。進行役は境野修次氏(劇団石るつ、演劇会議編集長)。

秋葉裕一(あきば ひろかず)氏

1947年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。ドイツ・ケルン大学文学部に留学。早稲田大学理工学部教授などを歴任。元早稲田大学坪内博士記念演劇博物館副館長。プレヒト他、井上ひさしなど多岐にわたり研究。